

中津市の「永添児童クラブまりあ」

家庭に代わる生活の場提供

永添児童クラブまりあは同市大幅校区の児童を対象に、1999年に誕生。同法人の児童養護施設に併設していた中学校「ドンボスコ学園」(97年に休校)の旧校舎でスタートした。同法人の村松泰隆副施設長は「学園の休校後、児童養護施設の子どもたちが市立の中学校に通うようになつた。地域の皆さんへの支えを受ける中、法人として地域に貢献できる活動をしようと放課後児童クラブを始めた」と振り返る。2013年からは、敷地内に新たに建設した「まりあ



おもちゃで遊ぶ子どもたち



みんなで縄跳び



寒い日も外遊び

社会福祉法人 児童養護施設聖ヨゼフ寮

住 所 〒871-0162 大分県中津市永添2646-4
T E L (0979)22-2320
H P <https://st-joseph-dormitory.localinfo.jp>
理 事 長 横井 哲
運 営 施 設 (事業所) 児童養護施設聖ヨゼフ寮、放課後児童クラブ永添児童クラブまりあ



自然豊かな環境で楽しく元気に、

中津市永添の社会福祉法人「聖ヨゼフ寮」は、放課後児童クラブ「永添児童クラブまりあ」を運営している。共働きの家庭の子どもたちに対して、放課後や長期休暇中に、家庭に代わる生活の場を提供している。

「ホール」で運営している。日曜や第4土曜、祝日、年末年始、盆を除き毎日開所。平日は下校時から、土曜や夏休みなど長期休暇中は午前8時半から受け入れ、午後5時まで開所している。現在、小学1～3年の計36人が在籍。子どもたちと共に過ごす支援員は8人いる。

敷地が広く、自然豊かな環境が特徴。まりあホールは木のぬくもりに包まれ、子どもたちが心地よく過ごせるような工夫が施されている。野外には遊具や砂場、グラウンド、屋根付

ホールの体操場などがある。畑では季節の野菜を収穫し、クヌギ林では夏に昆虫採集をする。敷地は歩くと1周20分ほどの広さで、人気の探検コースになっている。子どもたちは「友達がいるから楽しい」「いつも鬼ごっこや縄跳びをしているよ」と元気いっぱいに過ごしている。

支援員リーダーの本間祥子さんは「支援員同士アイデアを出し合つて、子どもたちが喜ぶ遊びやイベントを考えている。「今日も来て良かった」と思つてもらえる場にする心を掛けている」。村松副施設長は「子どもたちには、大人たちに見守られて、愛されていると感じながら過ごしてほしい。これからも働く保護者が安心して預けられるクラブにしたい」と話している。

由布市の「温水園」

東勝吉さんの作品を常設展示

由布市の社会福祉法人「清風会」は、運営する特別養護老人ホーム「温水園」で、入所者だった故東勝吉さんの絵画作品を常設展示している。地域に広く開放し、入所者はもちろん、多くの人に勇気を与えていた。



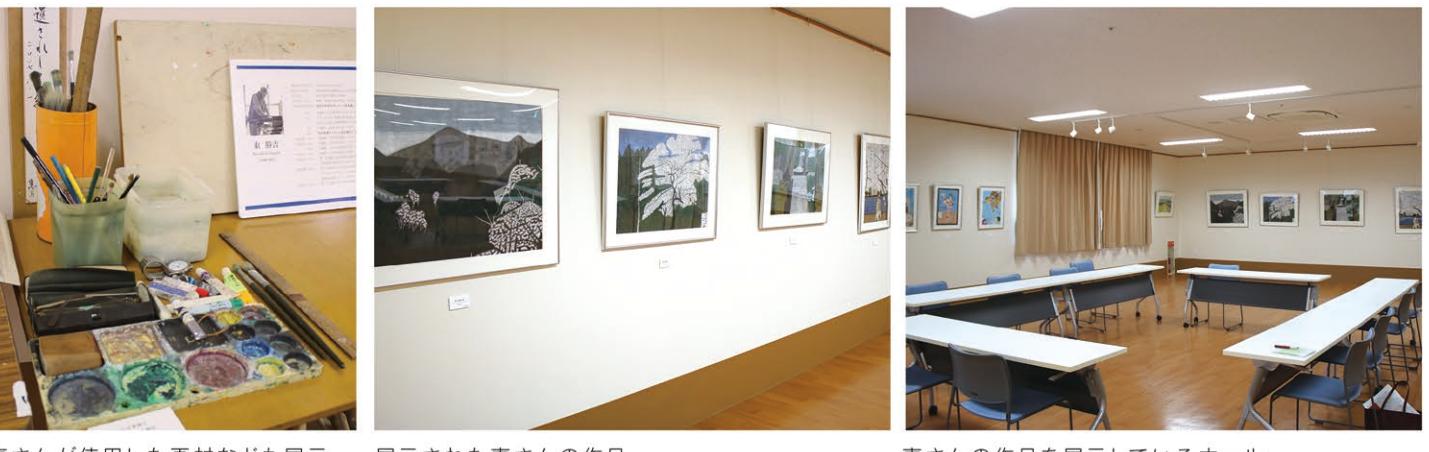
佐藤珠美常務理事

から常時20点ほど展示している。事前に問い合わせれば、誰でも無料で鑑賞できる。

同園の佐藤珠美常務理事は「東さんの作品は私たちに、「いくつになつても自分の可能性を追求できる」というメッセージを与えてくれる。作品を見て、何か行動を起こすべきつけにしてほしい」と話す。同園は高齢者の生きがいづくりを大切にしており、83歳から才能を開花させた東さんは、入所者にとって勇気を与えてくれる存在だ。地域の中にも「東さんがいたから頑張れる」と、高齢になつて新しいことを始めた人もいるという。

高齢者の終のすみかとなる老人ホーム。ともすれば暗いイメージを持たれがちだが、東さんの作品には、それらをカラッと一掃する明るさがある。「福祉の現場はこんなに明るく、元気をもらえる場所だということを、これほど説得力を持つて伝えるコンテンツはない」と佐藤常務理事。福祉業界のイメージアップや人手不足解消のためにも「多くの人に見てもらいたい」と願つていて。

絵画を通じて勇気を与える



東さんが使用した画材なども展示

展示された東さんの作品

東さんの作品を展示しているホール

社会福祉法人 清風会

住 所 〒879-5114 大分県由布市湯布院町川北1964
T E L (0977)85-3722 H P <http://www.nukumien.or.jp>
理 事 長 佐藤 忠興
運 営 施 設 (事業所) 特別養護老人ホーム温水園
シルバーケア総合センターぬくみ ショートステイ事業部
シルバーケア総合センターぬくみ ケアプラン事業部

